

# 生態園マップ～2025夏編～

きせつ

## ＜季節のできごと＞

畑ではアサガオや里芋などを育てます。これは食用ではなく、光化学オキシダント（光化学スモッグ）の植物への被害を観察するためです。よく見ると葉っぱの表面が変色しているものがあります。これらは光合成をするときに二酸化炭素と一緒に光化学オキシダントを吸い込み、細胞に被害を受けたことによるものです。



## ニホンカナヘビ



ニホンカナヘビは全国に生息する日本の固有種です。こげ茶色の体に白い筋が入っているのが特徴で、鱗は光沢がなく、表面はザラザラして乾いて見えます。日光浴が大好きで、起きている時間のほとんどは温かい場所で日光浴をして過ごしています。家の庭や草むら、生態園でも見ることができます。探してみませんか。



CESSチャンネル (Youtube)

生態園についても配信中

## クヌギの樹液(じゅえき)

クヌギはブナ科の落葉広葉樹で、カブトムシやクワガタが集まる木として知られています。クヌギの木の樹液をカブトムシ(メス)、コガネムシ、ゴマダラチョウ、スズメバチが吸いに来ています。木から染み出た樹液は、お酒が発酵したような匂いがします。この匂いに誘われて、たくさんの生き物がこの木に集まります。

カブトムシのオスはいませんね。オスは硬い体と丈夫な角を持ち、闘争心も強いので、他の昆虫を押しのけてしまいます。そのため、オスのいない時に他の昆虫がくるようです。

ちゅうい

き じゅえき

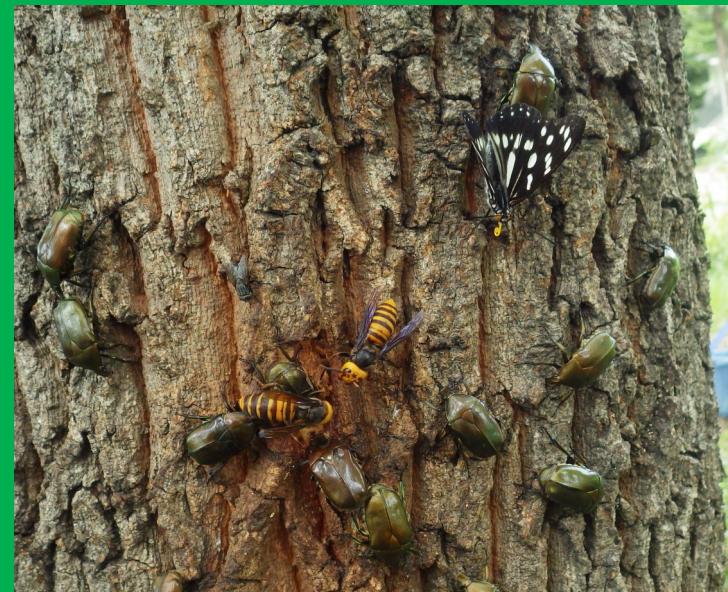
だいす

かんさつ

さい じゅうぶん

き

★注意：クヌギの木の樹液はスズメバチも大好きです。観察する際は十分にお気をつけください。



## 夏の昆虫

せいたいえん 生態園にはカブトムシだけではなく夏を代表する昆虫たちがたくさんいます。来年も見られるように、観察 したら生態園に戻してくださいね。

### ノコギリクワガタ



なまえ おす おお  
名前のとおり雄の大あご  
うちがわ は  
の内側にたくさんの歯があるのが特徴のクワガ  
とくちょう タです。幼虫の時の  
えいようじょうたい おお おお  
栄養状態で大あごの大  
きさは決まるようです。

### ギンヤンマ



あたま お  
頭から尾までは7cm、  
はね なが  
翅の長さは5cmほどの  
おおがた とうぶ  
大型なトンボです。頭部と  
きょうぶ きみどりいろ  
胸部は黄緑色、腹部が  
ふくぶ  
おうかっしょく  
黄褐色をしています。

### アブラゼミ



おお とうめい はね  
セミの多くは透明の翅です  
はね ぜんご  
が、アブラゼミの翅は前後と  
ふとうめい かっしょく  
も不透明の褐色をしていて、  
せかい めず はねぜんたい  
世界でも珍しい翅全体が  
ふとうめい  
不透明なセミです。「ジリジ  
リジリジリ」の鳴き声は暑さ  
ばいぞう な こえ あつ  
を倍増させます。